

第2回「これからの学生生活をともに考え、見守る研究会」開催案内

この研究会は、全国大学生協連の理事会委員会として設置され、コロナ禍3年を経る中で、学生が頑張っている事、困っている事や悩みなどを共有し、大学生協や社会ができることを検討し、社会的発信も模索する趣旨で行っています。4月17日(日)開催の第1回研究会は、第57回学生生活実態調査をもとに、委員のみなさんが感じる学生の実情を意見交換し、共有をしました。

第2回は「就職活動の今」がメインテーマです。コロナ禍で対面オンリーから、オンライン中心のハイブリッド型に変化した就活も、今年で3年目を迎えます。この間の学生生活実態調査や学生アンケートにもあるように、「ガクチカで何を話したら良いのか」「周りの学生の状況が見えないので、自分がどの位置にいるかわからずやりづらい」などの悩みが出ており、特に今年24卒就活は、コロナ初年度の2020年入学生(3年生)が活動のメインとなり、これまで以上のような様々な悩みや困り事が予想されます。その為、研究会内部だけではなく、この間大学生協との関係者各位にも参加いただく形をとりました。

今回その予想される悩みや困り事を、委員の皆さんの意見交換で明らかにするとともに、大学生協や社会で何を支援できるか、何をしていったらよいかを、参加者の皆さんの意見交換で深めていきます。

主催：全国大学生生活協同組合連合会(略称：全国大学生協連)

日時：7月11日(月)17時～18時30分(90分)、場所：zoomによるオンライン開催

参加申込URL：<https://forms.office.com/r/qY0tkWe4Ap>

申込用QRコード



*参加申し込みいただいた方に、zoom ミーティング設定をお知らせいたします。

<メインテーマ> 『就職活動の今～ガクチカなど学生の困り事、生協や社会でできる事～』

<スケジュール>

全体司会：米山高生委員長(東京経済大学教授・一橋大学名誉教授、大学生協共済連会長理事)

- 第2回研究会について(2分) 司会：米山委員長より 17:00～17:02
・本日のメインテーマ、スケジュール・運営概要(取材の場ではないことの確認を含む)、ライブアンケートについて
 - 報告&委員ディスカッション(60分) 報告&司会・ファシリテーター：山形大学准教授松坂暢浩先生 17:02～18:02
・報告「コロナ禍における就職活動の実態 ～いま学生に必要な支援について考える～」30分
・委員ディスカッション30分
4年生の就活、24年卒就活。学生の困り事、大学の困り事。生協ができる事、社会に求める事。など
*この時間の発言は、研究会委員に限らせていただきます。
*ライブアンケート：皆さんの投稿チャットがライブアンケート上のタイムラインで表示されます。
所属と氏名を明記して発信してください。詳細は当日お伝えいたします。
3. 全員による意見交換でも続きます。
 - 全体ディスカッション(25分) 司会：米山委員長 18:02～18:27
*委員以外の参加者も交えての質疑応答、意見交換等、発言時間です。
 - 今後の研究会について(3分) 事務局/全国大学生協連広報調査部 眞田隆裕 18:27～18:30
- 終了

(ご確認事項)

この研究会は、学生教職員、大学生協、大学関係者、メディアの皆さんで、学生生活をともに考え、できることを考えることが主旨の研究会で、取材の場ではありませんので、研究会自体を記事にはされないようお願いいたします。

(報告者プロフィール) <https://researchmap.jp/n.matsuzaka79> https://yudb.kj.yamagata-u.ac.jp/html/100000429_ja.html

松坂暢浩先生 山形大学 学術研究院(学士課程基盤教育機構)准教授 兼 小白川キャンパスキャリアサポートセンター長

2002年3月 東北学院大学経済学部卒業、

2002年4月 扶桑レクセル株式会社(現 株式会社大京) 営業

2006年4月 株式会社リクルート 大学渉外

2010年4月 オフィス c-belief 代表

2011年4月 山形大学小白川キャリアサポートセンター准教授

2014年3月 東北大学経営学修士取得

2020年4月 山形大学小白川キャリアサポート副センター長

2022年3月 山形大学学術博士取得

2022年4月 山形大学小白川キャリアサポートセンター長

(次ページも参照)

お問い合わせは 全国大学生協連広報調査部眞田まで sanada.takahiro@univ.coop

講師略歴

【所属】

山形大学 学術研究院（学士課程基盤教育機構）
小白川キャンパスキャリアサポートセンター



【役職】

准教授
理事特別補佐
小白川キャンパスキャリアサポートセンター センター長

【氏名】

松坂 暢浩（まつざか のぶひろ）

【経歴】

1979年宮城県仙台市生まれ。

専門は、キャリア教育論、人材育成論。博士（学術）。

民間企業2社（大京グループ、リクルート）を経て独立。2011年より現職。全学対象のキャリア教育および就職支援の企画・運営を担当。2012年度から担当するキャリアデザインの講義は、毎年延べ2000人以上が受講している。

主な受賞歴として、文部科学省「平成30年度 大学等におけるインターンシップ表彰（文部科学大臣表彰）」最優秀賞（全国1位）受賞、日本インターンシップ学会第4回榎本記念賞「秀逸なるインターンシップ」受賞、山形大学基盤共通教育ベストティーチャー賞など。

主な著書として、『キャリア形成支援の方法論と実践』（共著、東北大学出版会、2017年）、『大学生のための実践的キャリア&就活講座』（共著、中央経済社、2019年）など。

主な外部委員として、日本インターンシップ学会東日本支部支部長、内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部「地方創生インターンシップ検討会」、経済産業省「戦略的ツール活用型若者 人材移転支援事業」、山形県「若者女性県内就職・定着促進協議会」などの委員を歴任。

最近の研究は、産学連携による教育的効果の高いインターンシップの開発および効果検証について。

【資格】

国家資格キャリアコンサルタント（登録番号16037175）

米国CCE, Inc. GCDF-Japan キャリアカウンセラー（GCDF04231-JP）